

第97号
 発行
 令和4年7月28日
 責任者
 福島県公立学校
 退職校長会安達支部
 伊藤末吉

【巻頭言】

『かなわない』こと

〜良寛論（その二）



支部長 伊藤末吉

最近の世界は、コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻問題など、益々怪奇で不透明になっていきます。

このような不安な時代であるからこそ、私は、良寛様の生き方が偲ばれ、多くの方知ってもらいたいと願っています。清貧と孤独の中で生涯を終えた良寛は、現代人には愚かな弱者の姿と一笑されるでしょうが、そこには他の追隨を許さない気品と一途な信念があります。ここでは、良寛の二千近い和歌・俳句・漢詩の作品群から、無謀にも私が特に好きな一作ずつを

選び、拙い感想短文（超訳）を付けてみます。

私が特に心に残る作品は、辞世の和歌と五合庵での生活がわかる俳句や漢詩です。

『形見とて何か残さん春は花山ほととぎす秋はもみぢ葉』（私の形見には、春は花が咲き、夏は時鳥が鳴き、秋は紅葉が美しい、この自然を残したい。）

『炊くほどは風がもて来る落ち葉かな』（生活の煮炊きは、風が運ぶ落ち葉で十分です。）

『生涯懶立身騰々任天真囊中三升米廬邊一束薪誰問迷悟跡何知名利塵夜雨草庵裡双脚等

閒伸』（私の一生は、出世を好まず気ままに過ごし、袋に米と炉端に薪とが少しずつあれば十分でした。迷いや悟りは考えず、名誉や利得は知らないので、雨の夜は草庵で両脚をゆったり伸ばします。）

これらの作品に触れると、私は、作者が持つ感性のよさや思想の深さ、表現の的確さに驚きます。私はまた、自然体で生きた大愚良寛の日常には、誰もが憧憬する理想形があったと確信します。そして、私たちが作品から受ける感動の源は、その個性的な表現に加えて、『世の中にまじらぬにはあらねどもひとり遊びぞ我はまされる』のように、作品の底を流れる孤高の精神を感じずにはいられません。

でもかなわないと痛感します。しかも、良寛の創作力で最も評価が高いものは書道であり、当時から多くの富裕層の者がパトロンとなり、彼の書を得ようとした。

ところで、私が良寛の生涯を思うときに忘れられないことは、

備中玉島円通寺住職であった国仙和尚の存在です。彼は良寛に、次のような表現で仏道修行完就の証明書（印可の偈）を与えました。

『良也如愚道轉寛騰騰任運得誰看爲附山形爛藤杖到處壁間午睡閑』（良寛は愚人のようだが仏心は洋々とし、自然に任せた生き方は誰も理解できないだろう。そこで、おまえには粗末な藤づるの杖を授けよう。どこへ行くにも持ち歩き、壁に立てかけ昼寝をするがよい。）

私は、この偈を読むとき、この師弟相互の強い絆にはとてもかなわないと感動します。仏師国仙は、弟子良寛の人間と人生を温かく看破しています。そして、良寛はこの偈を後生大事に、師のことばどおりの人生を全うしました。

人の一生は千差万別ですが、良寛様の生涯のように多くを望まず、周囲に迷惑をかけず、己の境遇を愚直に受け入れ、生き切ることは見事なことです。私は今年も良寛史跡巡りに出かけ、穏やかな日本海の夕日を眺めるつもりです。

令和四年度（第五十八回）

安達支部総会を実施

令和四年度退職校長会安達支部総会は、四月十六日（土）四十六名の会員の出席のもと、二本松御苑を会場に開催された。開会に先立ち、この一年間に亡くなられた本会会員五名の方々のご冥福を祈って黙祷を捧げた。



伊藤支部長の挨拶

佐藤英之副支部長の開会のことば、国歌斉唱（CDを流すのみ）の後、伊藤末吉支部長の挨拶では、これまでの各種支部事業への支援協力に対する感謝を述べるとともに、本支部長寿会員八名様や全連退賀詞会員三名様へのお祝いと新入会員六名入会歓迎のことばがあった。さらに、コロナ禍や世界情勢にもふれて、本会の充実にもちろんのこと教育の充実にも努めてまいりたいと話し、挨拶を終えた。



長寿会員への祝い金贈呈

次に、本支部長寿会員八名の方々（穀野只信様・茅原光照様・高橋健二様・懸田弘訓様・荒川勝善様・二瓶洋一様・須賀紀一様・佐藤宇一様）の紹介があり、ご出席された本支部長寿会員の茅原光照様と須賀紀一様に、祝い金が贈呈され、お二人より感謝御礼の言葉が述べられた。さらに、昨年度の新入会員の方々で、この支部総会に出席できなかった二名（渡辺敏弘様・井関和明様）の紹介があり、お二人より挨拶をいただいた。そしてさらに、本年度の新入会員六名（佐藤則之様・遠藤春光様・安齋宏之様・高橋一彦様・渡邊正仁様・橋本淳一様）の紹介があり、ご出席いただいた佐藤則之様・安齋宏之様・高橋一彦様・渡邊正仁様・橋本淳一様の五名より挨拶をいただいた。続いて、日下部善己氏の司会で協議に入り、議事が検討された。

- 一、令和三年度事業（会務）報告
 - 二、令和三年度会計決算報告、監査報告（監事代表の安田幹雄氏が報告）
 - 三、令和四年度事業計画案及び会報発行計画案
 - 四、令和四年度会計予算案
 - 五、令和四年度役員組織（理事の変更の報告）
 - 六、その他
- 慶弔費、事務弁償費について、今後検討のうえ来年度の総会に提案することとして意見がまと

まり、議事内容は、全て承認された。



本年度の総会の様子

最後に、事務局長が諸連絡（研修会略歴・教育懇談会略歴・文書・会報等配布及び連絡網の確認、会員名簿、「私の履歴」、県公立学校退職校長会郡山大会について）を行った後、矢吹哲三副支部長が閉会のことばを述べ、今年度の総会が終了となった。

例年、総会終了後に懇親会を実施していたが、昨年に続き感染防止のため行わず、「折詰料理」を総会出席者全員にテイクアウト（持ち帰り）をしていた。

叙位叙勲受章会員紹介

◇ 従六位瑞宝双光章

矢吹 哲三様

(令和四年六月九日ご逝去)

高齢者叙勲受章会員紹介

◇ 瑞宝双光章

伊藤 惇様

(元安達太良小学校長)

全退連賀詞会員の紹介

伊藤 惇様



第四十五回福島民報出版文化賞

◇ 正賞

日下部 善己様

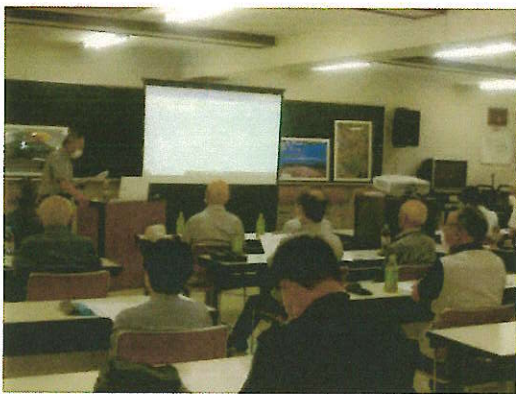
第一回研修会

『世界の国々を訪ねて』
～ファインダーから観る国内外の景観と社会～

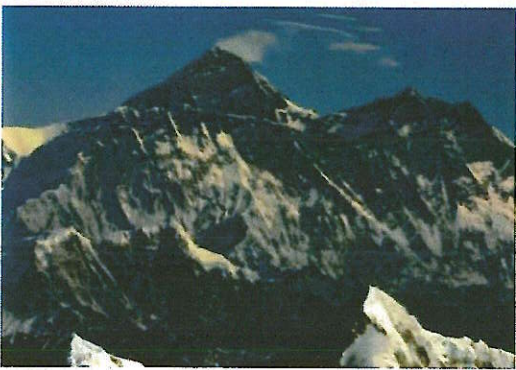
講師 佐藤 邦英様

六月十八日(土)に二本松文化センター研修室において、会員三十二名の参加の下で、佐藤邦英先生による表題の講演会を開催しました。佐藤先生は大学を卒業する頃に写真に興味を覚え、学生協でカメラを購入したそうです。そして当時人気の

「兼高かおる世界の旅」というテレビの紀行番組に魅せられて、いつか自分も世界を旅してみたいと思うようになったそうです。これまでに世界五十二カ国、延べにして七十四カ国を旅され、その時々撮影した貴重な写真を、エピソードを交えて紹介し



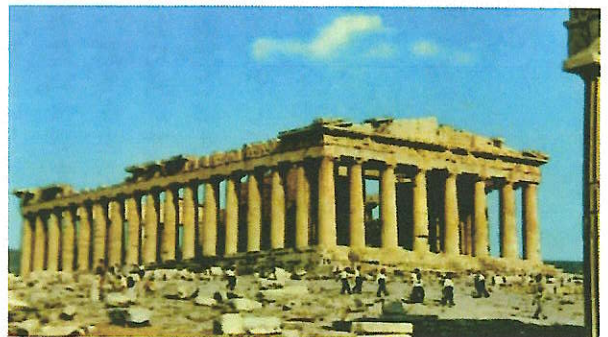
研修会の様子



エベレスト (機内から)

ていただきました。

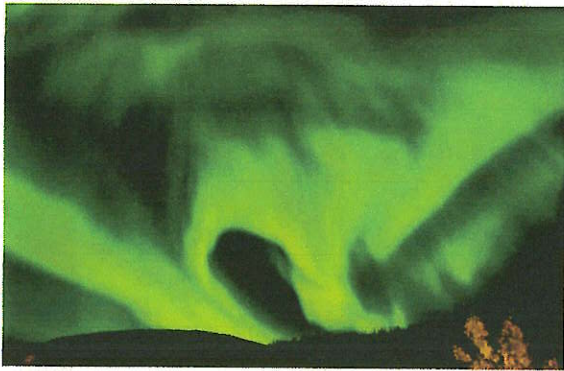
また、佐藤先生は、カメラの腕もプロ並みで、日本山岳写真協会や全日本山岳写真協会、二科会写真部福島支部などに所属して活躍されてきたそうです。貴重なお話をありがとうございました。



パルテノン神殿 (ギリシア)



27.6mの吊り橋 (ネパール)



オーロラ (カナダ・ドーソンシティ)



ラクダに乗って (モロッコ・メルズーガ サハラ砂漠)



民家を訪ねて (ジンバブエ)



夕照彩雲 富士五湖 (西湖)

研修会参加者の感想

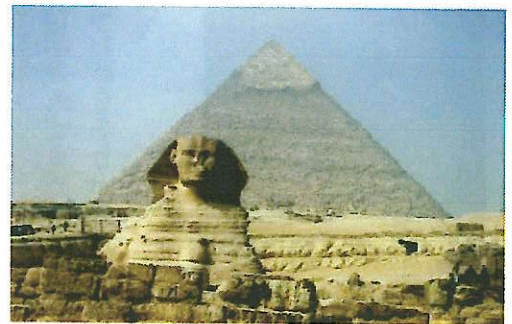
研修会に参加して

渡邊 文勝

六月中旬民友新聞に読売民友写真クラブのスナップ部門で優秀賞に輝いた作品が掲載されましたが、これまでもセミプロレベルの写真の腕前で多くの優秀・入賞作品と邦英先生の名前を新聞等で拝見してきました。

邦英先生とは、安達町の小さな小学校で一緒に勤めたことがあり、その時は現在の活躍に繋がる様子は微塵も見せず一生懸命教育に情熱をもって取り組んでいたことを思い出しています。

退職してから奥様との旅行をライフワークとし、国内外で撮影された作品を拝見するのが今回の研修会の内容でありました。世界五十二カ国を訪れ精力的に撮影された写真のプレゼンは素晴らしく、中でも「オーロラ」の幻想的で神秘的な緑がかった鮮やかな色彩が残像として頭の中に今でも残っています。



ピラミッドとスフィンクス (エジプト)

今回多くの作品から先生の奥様孝行の素晴らしさが分かると共に、今後も邦英先生には益々健康で目や心を癒す写真を撮り続けて欲しいと思います。

まさに「世界を股にかける写真家」邦英先生の面目躍如たる研修会に満足です。これが私からの讃辞と御礼です。一緒に勤めた先輩として一層尊敬の念を強く思うこの頃です。



ピサの斜塔 (イタリア)

クラブ活動の紹介

フォトαクラブ

写真十何でも可
で生活の充実を

昨年から活動したフォトαクラブもようやく一年が経ち会員も五名になりました。

写真に加え、俳句などを添えて作品創りをするαアルファの自由性や創造性を、私達は存分に楽しんでいます。

写真の撮り方や見方に加え地域の寺社研究の資料など、新たな関心や意欲の高まる内容があります。視野の広まりを実感しています。当クラブは、次の方針で活動をしています。

○例会は、二ヶ月に一回・奇数月の第二金曜日の午後二時を原則としています。

○作品の発表機会は、支部総会(四月)・現職校長との懇談会(十二月)に加え、地区文化団体(総合文化愛好会)との合同展を年二回実施しています。



○例会は二本松市研修センターで実施、他団体の方も見学しました。

○写真は例会の様子です。す(八月・三月の各二週間、県男女共生センター三階ロビー)。

☆ コンパクトデジカメラやスマホでも十分活動できます。

★ 入会希望の方は、佐藤邦英・伊藤末吉・本多長・小林淑人・佐藤吉郎会員に連絡を！

自然探勝クラブ

(会員二十三名)

【目的・方針】

- ・ 森林浴、歩行での健康増進
- ・ 自然・史跡による識見高揚
- ・ 会員相互の親睦

【令和四年度の計画】

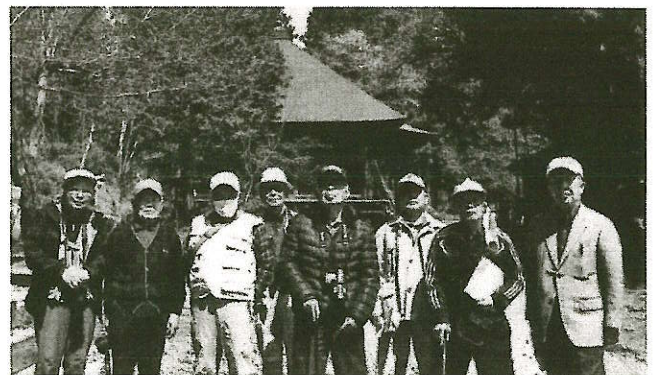
【春季】

「鹿狼山」「松川浦公園」の自然探勝と新地町・相馬市の震災の復興の現状を探訪する予定でしたが、コロナ禍の状況を考慮し、中止となりました。

【秋季】

探勝地は弘法大師開基の山本不動尊の探訪と周辺の紅葉の探勝を予定しています。マイクロボスを利用するので、ご希望があれば一般会員の方の参加も可能です。

自然探勝クラブ発足十五周年になり、予定の計画も終了し、関



令和3年春 法用寺観音堂にて

係者の高齢化もあり、今年度限りで活動を終了します。

★参加希望の方は、須賀紀一世話人に連絡を！

☆☆☆ 心より ご冥福をお祈り申し上げます ☆☆☆

矢吹 哲三様

令和四年六月九日ご逝去

七十一歳

○元安達中学校長

☆ 先生のご功績に深い敬意と感謝を捧げます。

コロナウイルス感染症と福島県退職校長会の対応

令和二年に発生した新型コロナウイルス感染症問題は、あつという間に世界中・日本中に拡大し、以後二年半となる今年度八月も、問題は解決していません。逆に、ウイルスはどんどん変種が登場し、人間の科学力や社会力をあざ笑うかのように、困難で深刻な威力を示しています。

ここでは、退職校長会福島県大会の対応状況を振り返り、今後の打開策を模索する上での情報をまとめてみます。支部会員皆様の活動充実への意欲ある提案を期待します。

【R2】会津大会(両沼担当)

延期・感染拡大防止

【R3】会津大会(両沼担当)

書面開催・同右・(発表)

安達+西白河+双葉

【R4】郡山大会(県中南担当)

延期・同右

【R5】郡山大会(県中南担当)

(発表) 福島+南会津+相馬 (実施予定)

馬

【R6】安達大会(安達支部担

当)・(発表) 石川+耶麻

+いわき(実施予定)

令和四年度も延期となり、本支部担当の県大会は令和六年度に実施する予定です。どのような状況になろうとも、万全の体制で開催したいと思えます。次に、開催上の確認・留意事項をまとめます。

一 大会内容：①開会行事+②記念講演+③昼食・交流+④

3支部発表+⑤閉会行事

二 留意事項：①では、司会・挨拶・来賓等担当者が必要、

②では、講師選定・当日準備・映像等担当者が必要、③では、

昼食選定・配分作業・交流場所準備等、④では、発表3支

部との連絡調整・発表環境整備、⑤では、①に加え片付け

等

三 その他：大会実施に向け、

①県事務局との連絡、②大会

要項の編集・印刷依頼・配分

準備などがあります。

支部全体での対応が必要です。

ご協力をお願いします。

令和四年度支部役員一覧

支部長 ○伊藤 末吉
副支部長 松浦 健二

監事 ○矢吹 哲三
○佐藤 英之
安田 幹雄

顧問 ○小松 佑
小島 喜一
久保 恒義

理事 ○菅野 藤雄
○鈴木 則雄
○佐藤 邦英

○服部 健
○服部 啓吉
○宮前 貢

○角田 恒雄
○松井 義孝
○菊池 勇人

○松本 公秀
○鈴木 一高
○小池 重彰

○渡辺光太郎

事務局長 ○高島 徹也
庶務 ○福本 隆

会 計 ○渡邊 健順
○小濱 伸

県評議員 ○渡部 祐司
伊藤 末吉

県理事 高島 徹也
宮前 貢

安田喜市郎
原瀬久美子

(○は理事)

今年度は役員改選の年ではありませんので、令和三年度の役員が引き続き務めます。なお、本宮地区の久間木俊二様が理事を退任されることになりました。長期に亘り務めて頂きまして心より感謝申し上げます。今年度も役員一同本会発展のため一生懸命務めますので、皆様方のご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。